

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月14日

事業所名 BLUE PLAYS

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・使わない運動器具を片付ける等、スペースを有効活用するように努めている。	・法令上の基準は満たしている。
	2	職員の配置数は適切である	3	2	・管理者・児童発達支援管理責任者が個別療育を行っている。	・法令上の基準は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・カバンや上置き場、場所名などを文字・イラストで表示しているほか、ラインテープやパーテーション等で区切っている。	・バリアフリーについては不完全であるが、資金的問題から限界がある。 ・構造化を重視すると、運動療育のスペースが狭くなってしまふ。バランスを取るのが難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・入社後、必ずアルコール消毒等を行っている。	・今後も定期的に清掃を行い、清潔な環境作りに努める。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・月に一回、代表取締役も含めた職員会議を実施している。 ・パート職員には議事及び情報を共有している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・管理者が中心となり事業所評価を実施。保護者から意見があった場合は、適宜対応している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		・必要性は感じているが、まだ実施できていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・管理者・児発管が他事業所や他機関への聞き取りを定期的に行っているため、客観性はあると感じている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	個別支援計画の各目標についての達成度を毎利用日評価している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	・運動プログラムについては、代表取締役がメニューを作成し、各職員がアレンジして実施している。 ・課題に関しては個別支援計画に基づいて各職員が準備している。 ・個別に療育が必要な児童に関しては管理者・児発管を中心に実施している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・反復練習が必要なものについては、あえて固定化させている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		・送迎等の関係で必ず実施できていない。	

関係機関や保護者との連携	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		・送迎等の関係で必ず実施できていない。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・HUG成長療育支援システムを活用し記録を取っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・最低6か月に1回実施している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・管理者・児発管が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・管理者・児発管が関係機関に定期的に連絡を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	・受け入れなし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	・受け入れなし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・移行支援会議等は実施していない。 ・個別支援計画は保育園等に共有している。	・移行支援会議等の必要があれば、管理者・児発管が出席いたします。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・移行支援会議等は実施していない。 ・個別支援計画は小学校等に共有している。	・移行支援会議等の必要があれば、管理者・児発管が出席いたします。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	・助言・研修は受けていない。	・機会があれば、助言・研修等を受けたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		・実施しておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		・自立支援協議会の委員でないため、出席しておりません。
	保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	・HUGで成長療育支援システムや保護者面談等で情報共有を行っている。
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・保護者面談において、ご要望があった保護者に対しては実施している。	
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・1か月に一度、保護者面談の希望を取り、希望があれば実施している。	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		・実施しておりません。
36		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	5		・会報等は発行しておりませんが、行事等がある際は書面でお知らせしております。
38		個人情報の取扱いに十分注意している	4	1		・個人情報保護に関して、更に意識を高められるよう努力して参ります。
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・それぞれに応じた配慮を行っている。	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		・実施しておりません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	・HUGの保護者連絡で、マニュアルデータを周知した。訓練も実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・アセスメント時に、確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5		・医師の指示書は頂いていませんが、アレルギーは把握しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・ファイルを作成し、事業所内で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	・実施している。	